

**製品名: GCDH ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87049**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:48 kDa; Observed MW:48 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GCDH
別名	GCD; ACAD5
遺伝子ID	2639
SwissProt ID	Q92947
免疫原	ヒト GCDH の合成ペプチド

**背景**

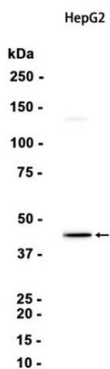
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アシル CoA 脱水素酵素ファミリーに属する。L-リジン、L-ヒドロキシリジン、およ

びL-トリプトファン代謝の分解経路において、グルタリル CoA からクロトニル CoA と CO(2)への酸化的脱炭酸反応を触媒する。電子伝達フラビンタンパク質を電子受容体として用いる。この酵素は、ミトコンドリアマトリックス中に45kDサブユニットのホモ四量体として存在する。この遺伝子の変異は、グルタル酸尿症1型（グルタル酸血症1型としても知られる）を引き起こす。この遺伝子の選択的スプライシングは、複数の転写バリエーションを引き起こす。関連する偽遺伝子が12番染色体上に同定されている。[RefSeq提供、2013年3月]

## 研究分野

-

## 画像データ



GCDH ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Jurkat 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。